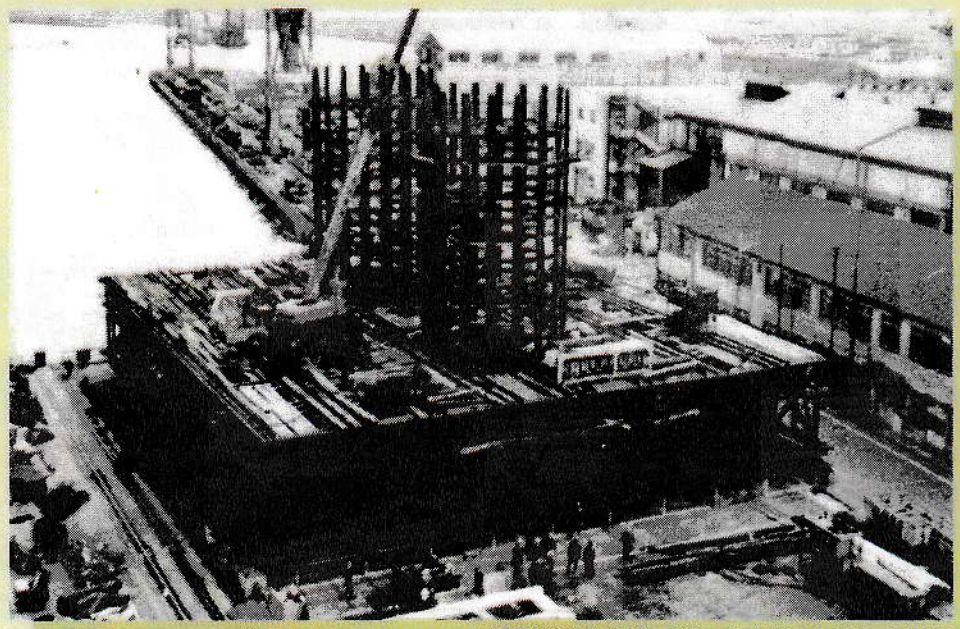
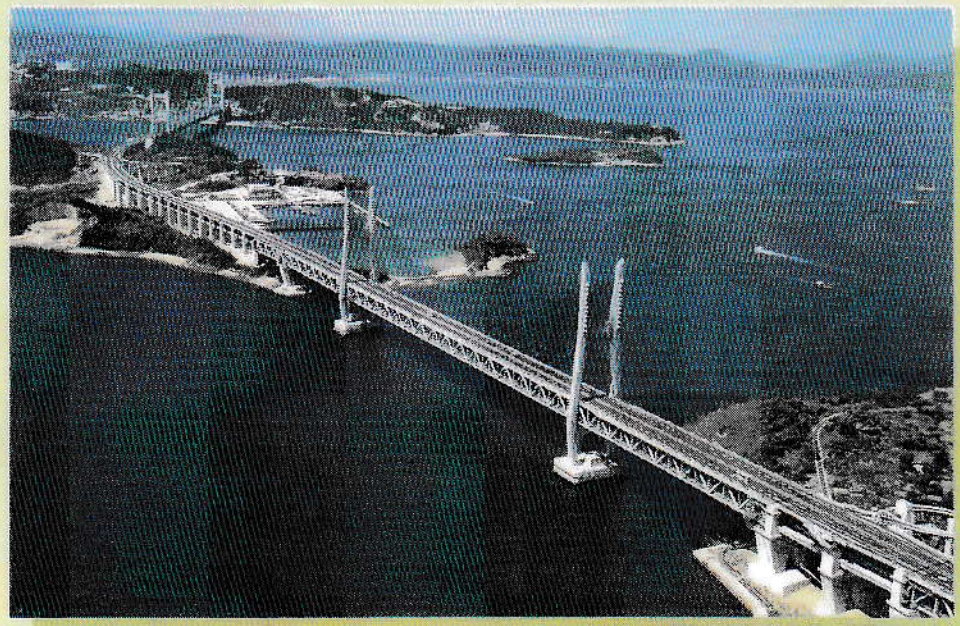
使用例

プレパックドコンクリートとは、普通コンクリートと違って最初に砂利だけを型枠に詰め、その空隙にプレパックドコンクリート用混和剤、セメント、フライアッシュ、砂、水で作ったモルタルを注入しコンクリートとするもので、特にこの工法は水中工事例えばダム、河川、海岸、港湾、橋梁、船渠などの構造物の築造に経済的で完全なコンクリートを作ります。その他原子炉の放射線遮へい重コンクリート、各種基礎工事、トンネルの裏込め、護岸の止水グラウト、グランドアンカー工事、推進工事の裏込め、鋼管矢板継手の充填、二重埋設管の中詰、補修工事等多方面にわたり使われております。

プレパックドコンクリート工法



大黒埠頭連絡橋　プレパックドコンクリート型枠



本州・四国連絡橋（児島・坂出ルート）

児島・坂出ルートの内、坂出市櫃石島と岩黒島の海峡部に架かる中央径間420mの鋼斜長橋である。斜長橋の4基の基礎の内、急潮流、大水深、急傾斜地盤の条件下に設置されたケーソン工法で計画された主塔基礎1基にプレパックドコンクリート用混和剤を混入し、プレパックドコンクリートを築造したものである。